

# 口腔外科

有家 巧

当科では口腔、顎、顔面領域に生じる疾患を治療対象としている。すなわち 1) 歯および歯周組織疾患 2) 口腔粘膜疾患 3) 顎骨疾患 4) 唾液腺疾患 5) 顎関節疾患 6) 神経疾患 7) 血液疾患（診断と口腔粘膜出血の処置） 8) リンパ系疾患などの口腔外科疾患を扱っている。特に悪性腫瘍の治療においては頭頸部カンファレンスや病理カンファレンスに参加するとともに、関連科の協力を得て集学的な治療を積極的に行っている。一方総合病院の口腔外科として、一般開業歯科医院では治療困難な全身管理（全身麻酔および周術期管理を含む）を要する患者さんの歯科治療や、入院患者さんの口腔管理も行っている。なかでも口腔ケアは、放射線治療、化学療法、骨髄移植、全身麻酔の術前（上部消化管疾患、肺がん等）、人工呼吸器装着および各種感染症などの患者における治療の遂行および入院期間に影響を与える大きな要因として認識され、十分な対応が求められている。

教育面では当科は歯学部学生の早期臨床体験を受け入れ、歯科医師卒後研修の研修指定病院としてマッチングに参加し、平成 23 年度は 1 名の研修医を指導した。また日本口腔外科学会および日本顎関節学会の研修指定機関に指定され、専門医取得のための卒後教育も積極的に行っている。

臨床研究としては口腔顎顔面悪性腫瘍術後における顎骨再建と口腔機能再建、非関節性開口障害の診断と治療をそのテーマとし、また免疫感染症科の協力を得て HIV 感染者の唾液感染性に関する研究や国立病院機構内の口腔ケアに関する共同研究にも参加している。

## 【2011 年度研究発表業績】

### B-4

有家 巧、山本浩貴、瀧澤 徹、江頭俊輔、濱田裕之、古川正幸、鹿野 学：習慣性顎関節脱臼に対する手術療法の経験。第 65 回国立病院総合医学会。岡山。2011/10/7

山本浩貴、吉田 謙、鹿野 学、古川正幸、濱田裕之、江頭俊輔、瀧澤 徹、有家 巧：口腔軟組織発生癌に対する高線量率組織内照射と手術療法の治療成績。第 56 回日本口腔外科学会。大阪。2011/10/21

### B-6

江頭俊輔、鹿野 学、濱田裕之、古川正幸、山本浩貴、有家 巧：左側頬粘膜に発生した inflammatory myoblastic tumor の 1 例。第 42 回日本口腔外科学会近畿地方会。大阪。2011/6/25

### B-8

有家 巧：H I V 陽性者の口腔管理 -疫学・病理・病態をふまえて-。歯科保健研究会「HIV 研修会」。2011/10/15

有家 巧：HIV 感染症と歯科診療。大阪府歯科医師会 理事会勉強会。2011/12/6